

朝鮮半島やアジア諸国で  
したこともほぼわかって  
ない。同時に、戦前の日  
本でほとんど「自由」を  
奪われ、戦争に向かって  
行ったということが想像  
つかない。アジア太平洋  
戦争の歴史について知ら  
なければ、その反省の下  
に作られた憲法という理  
解につながらないです  
ね。今の日本を「戦前に  
戻ったようだ」と訴えて  
も伝わらないし、「憲法  
守ろう」ということにも  
つながらないんです。

なぜ、後退しているの  
か。それは学校で教えら  
れていないからです。30  
代の教員も戦争について  
の知識がありません。  
「名古屋で空襲があった  
んですか」と学生と同じ  
反応が返ってきます。こ  
れでは教えることはでき  
ないです。ね。

戦争について知る場所  
を意図的に  
社会全体の中で戦争を  
直視して考える雰囲気  
後退していると感じます。  
映画にしてもドラマにし  
ても日本の戦争を事実  
に基づいて描く良質な作  
品が90年代以降減って  
います。あるのは戦争  
作品ばかり。ヨーロッパ  
や朝鮮半島などではそ  
ういう作品をちゃんと作  
てますし、日本軍「慰安

婦」の運動などにも若い  
人がかかっています。  
日本では戦争について  
考える場がない。私たち  
が意図的に作っていか  
なくてはなりません。  
地道な学習運動が重要  
小林よしのりに代表さ  
れるような歴史修正主義  
者たちが90年代から台頭  
し、徐々に社会に浸透し  
てきた。彼らも20年余  
かけてジワジワやってきた  
わけで、現在の「改憲」  
という流れにつながって  
います。これに対抗する  
には、やはり、丁寧で地

道な学習が不可欠です。  
時間はかかるでしょうが、  
これ無くては改憲の動  
きには対抗できません。  
いろんなところに呼ば  
れて講演などしますが、  
地道な学習を積み重ねて  
いるところは強いと感じ  
ます。  
3つの共同目標  
このひどい安倍政権を  
早くなんとかしなくては  
そのためにも「市民と野  
党の共闘」が必要です。  
一方で、天皇制や日米  
安保、新自由主義の害悪  
など、革新懇の3つの共  
同目標に掲げているよう  
なテーマは国の  
根幹にかかわる  
ような重要なテ  
マです。真正面  
から取り上げて、  
声を上げ続けて  
いくことが大事  
だと思っています  
す。革新懇には  
3つの共同目標  
に基づいた独自  
の取り組みにも  
期待しています。

### 第2回代表世話人会 (2/19) 報告

**情勢懇談から**  
(1) 安倍政治の行き詰まり  
予算委員会が安倍首相おどめられられている。ANAホテルの文書回答に文書で反論できず検事総長を意のままにしようとする定年延長のための偽った法解釈、そしてコロナウイルス(クルーズ船での)対応の誤りが公然化など。世論調査でも多くは不支持が支持を上回っている(共同調査では不支持が5%も上回っている)。  
(2) 改憲発議ストップ緊急署名へ  
追い詰められた安倍政治を終わらせる世論をつくる上で新しい緊急署名が重要となってきた。①3000万署名を総括し新署名の意義をつかむ②アベ政治(7年)は暮らしを直撃し法の支配を大きく逸脱。こんな人に改憲などさせられない③相手の暮らし、実感を大切に對話を広げる。この点ではシール投票は有効。④署名を实物でカウントする。

(3) 市民と野党の共闘から政権合意へ  
いくつかの小選挙区で野党との連携・共同街宣が行われている。13項目をもとに政策の練り上げも行われている。「市民と野党をつなぐ会@あいち」は中野晃一講演会を5~6月に予定。市民連合の全国の動きをつかみ、その後、1区から15区ごとの集まりを会場で行う。アベ政治を終わらせるには野党の政権合意がどうしても求められるし、これを地域から作ることが大切になっている。

(4) コロナウイルス拡大に適切な政府対応を  
クルーズ船での異常な大量感染。政府の初期対応の失敗。これまでの基礎医学軽視、公衆衛生体制の弱体化などが露呈した。感染拡大防止にお金も人もきちんと。

**当面の取り組み**  
(1) 改憲発議ストップ緊急署名を始める  
◎緊急署名スタート集会(あいち市民アクション2/24)。◎地域でも学習交流集会を行う◎ポスター・のぼり・横断幕(宣伝セット・全国市民アクション)をそろえる。  
(2) 全市民と野党をつなぐ会@あいち主催シンポ(中野晃一さんの日程調整中)への参加。  
(3) 地域・職場革新懇事務室長会議(2/21)を行う。  
(4) 連続憲法講座《安倍政治の総決算》を成功させる。年6回  
次回代表世話人会  
2020年3月19日(木) 14:00~

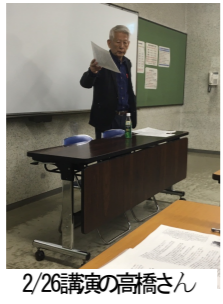
### 「憲法の大切さがよくわかった」 憲法講演会に70人 名古屋東部革新懇



2/22東部革新懇

よって守られてきたことをくわしく語りました。  
自民党の改憲草案にある9条の2は、「戦争放棄をやめること」と、ズバリ指摘したうえで、「日本国民は」から始まる現行憲法に対して、「日本国は」と、主語が違つことを強調。現行憲法を守ることの意義をわかりやすく話しました。(東部革新懇ニュースより)

### 「嫌韓問題の本質」とは 学習会と総会 革新民主「中の会」



2/26講演の高橋さん

2月22日、名東区役所講堂で開催の「講演と討論の集い」安倍9条改憲は戦争への道」に約70人が参加。あすわか弁護士が講演。あすわか弁護士の会(明日の自由を守る若手弁護士の会)会員で、全国各地をまたに憲法を語る活動をすすめている横浜法律事務所の高橋伊早子弁護士が「わたしたちの身近にある憲法って」と講演しました。  
改憲をめぐる情勢について太田弁護士は、「安倍晋三首相の改憲への野心は半端ない」今、日本に必要なのは憲法改正なのかと、憲法上の権利が、たたかいて

2月26日、イーブルなごやにて平和委員会理事長の高橋信さんを講師に「嫌韓問題の本質」についての講演会を行いました。この問題の必然的要因は安倍政治にある。韓国大法院判決(18・10・30)を罵った安倍官邸、一国の最高権力者

**近ごろ  
思う  
こと**

54

**パレスチナ地域研究**

**金城美幸**

最近、祖父たちの墓がリノベーションされた。韓国の済州島にある父方祖先の墓だ。着工時、祖先の霊を祭り、土葬の遺体を再埋葬した。日本が朝鮮半島を支配していた40年代に渡日し、1982年に亡くなるまで日本に暮らした祖父。死後は故郷の地に眠ることを望んだ。

### 故郷を思う人びと—— 済州島から パレスチナへ

に故郷を追われたパレスチナ難民たちである。「ここが私たちの家、学校、モスク」と指さす先に痕跡がある。彼らが故郷を失ったのは72年前、ユダヤ人国家イスラエルが建国された時。欧州の負の遺産である反ユダヤ主義は、ナチス政権下で頂点に達した後、パレスチナでのユダヤ人国家建設でもって「解決」された。パレスチナ人の故郷と引換えに。第三次中東戦争(67年)後もイスラエルは占領地を広げ、パレスチナ人の追い立てが続く。  
私の幼い頃に亡くなった祖父は、故郷にどんな思いを抱いていたのか。

\*金城さんは2019年9月号のインタビューに登場。「歴史を学び直す『未来に繰り返さない』記憶の形成を」と語っていただきました。